

准教授
藤和 太

■ 学歴

1. 2005年 九州大学博士課程 卒業

■ 学位

1. 2005年 博士（医学）

■ 研究分野

1. 栄養疫学研究
2. 分子疫学研究
3. 生活習慣病に関する疫学研究

■ 研究キーワード

1. 疫学
2. 遺伝子多型
3. 生活習慣病

■ 研究課題

1. 症例対照研究における DNA 修復酵素遺伝子多型と大腸がんに関する分子疫学研究
2. コーヒー摂取習慣関連遺伝子多型と 2 型糖尿病に関する疫学研究

■ 担当授業科目

1. 公衆衛生学 I（前期）（栄養学科） 必須
2. 公衆衛生学 II（後期）（栄養学科） 選択
3. 公衆衛生学（前期）（福祉学科） 選択
4. 健康管理概論（前期） 栄養学科 必須
5. 管理栄養士演習 I（通年）（栄養学科） 必須
6. 国際栄養論（後期）（栄養学科） 選択
7. 科学英語文献講読（前期）（栄養学科） 選択
8. 実践活動（3 年後期-4 年前期）（栄養学科） 選択
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- | | |
|----|---|
| 1. | 授業科目名【公衆衛生学 I】 |
| | 聞き取れにくい場合があると予想していたので、できるだけきれいなスライドを作成し、授業内容が |

	分かりやすくすることに気がつけた。新しいシラバスに基づいて、予習・復習をすることを勧めた。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。
2.	<p>授業科目名【公衆衛生学 II】</p> <p>公衆衛生学 I では、スライドを中心にした授業だったが、学生が教科書を読む習慣があまりないことに気がついた。それで、公衆衛生学 II の授業中、学生に教科書の重要な部分を読ませることを取り入れた。また授業中に発表や討論など応用的内容を取り入れた。毎回小テストを実施し、理解度を確認した。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。</p>
3.	<p>授業科目名【公衆衛生学】</p> <p>公衆衛生学の授業中、学生に教科書の重要な部分を読ませることを取り入れた。また授業中に発表や討論など応用的内容を取り入れ、毎回小テストを実施し、理解度を確認した。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。</p>
4.	<p>授業科目名【健康管理概論】</p> <p>スライドの数を減らし、授業中の演習を増やして、学生の意欲を出そうとしたので、結果的に時間的な余裕を持つことができた。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。</p>
5.	<p>授業科目名【管理栄養士演習 I】</p> <p>国家試験対策の授業で、演習を中心に行った。また解説プリントなど資料をできるかぎり配布し、授業内容を充実させた。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。</p>
6.	<p>授業科目名【国際栄養論】</p> <p>「国際栄養論」は 2 単位（2 時間×15 回）の後期科目である。講義内容は各国の医療栄養制度、栄養摂取状況、食文化について勉強する科目である。履修登録学生は少なかったため、アクティブラーニングを活用し、課題に対し、自分で調べ、自分でまとめて、発表する形で授業を進めた。</p>
7.	<p>授業科目名【科学英語文献講読】</p> <p>「科学英語文献講読」は 1 単位（2 時間×8 回）の後期科目である。主に栄養学に関する英語論文を講読する。履修登録学生は少なかったため、アクティブラーニングを活用し、英語論文を PubMed で調べ、調べた論文を講読し、発表するようにした。</p>
8.	<p>授業科目名【実践活動】</p> <p>学生が研究テーマを決め、決められた研究テーマに関する先行研究を調べ、講読し、週一回発表する。最後に自分の研究テーマについてまとめて文章にし、口頭発表する形で学生が自分から能動的に勉強するよう工夫した。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2002 年 10 月～現在に至る	アジア太平洋がん予防学会	会員
2.	2003 年 1 月～現在に至る	日本疫学会	会員、(2021-2022 年、代議員)
3.	2003 年 10 月～現在に至る	日本癌学会	会員
4.	2004 年 8 月～現在に至る	日本がん疫学研究会	会員
5.	2010 年 12 月～現在に至る	日本公衆衛生学会	会員

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.	2023年11 月	健康管理概 論 第4版	共著	講談社	① 栄養学 NEXT シリーズ教科書として編まれたもので、管理栄養士国家試験ガイドライン「社会・環境と健康」において、生涯を通じた健康管理をまとめた教本である。妊産婦、乳幼児、児童生徒、学生、成人及び高齢者の健康管理の順で構成されている。 ② 監修者名：桑波田雅士 塚原丘美 共著者：久保加織、 <u>藤和太</u> 、他17名 ③ 担当部分：第8章 生徒の健康管理（P127-144） 総頁数：P201 ④ B5判
2.					
3.					
（学術論文）					
1.	なし				
2.					
3.					
（翻訳）					
1.	2023年5月	医学部教科 書、病気がみ える vol.11 運動器・整形 外科 モンゴル語・ 英語・日本語 語彙集	共著	Medic Media 名古屋大学	① 名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学、モンゴル国立医科学大学大学院研修所と協力し、日本の医学部教科書である「病気がみえる」シリーズをモンゴル語に翻訳する作業を行っている。2023年5月に vol.11 のモンゴル語翻訳が終了し、印刷された。 ② 監修者名：浜島信之、バトウムル トウムルクヤク 共訳者名： <u>藤和太</u> 、ナラन्दルガ ドルゴル、オトゴンバト アルタンゲレル ③ 担当部分：日本語のモンゴル語訳（P1-103）

					総頁数：P103 ④ B5 判
2.	2023年4月	医学部教科書、病気がみえる vol.5 血液 モンゴル語・英語・日本語語彙集	共著	Medic Media 名古屋大学	① 名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学、モンゴル国立医科学大学大学院研修所と協力し、日本の医学部教科書である「病気がみえる」シリーズをモンゴル語に翻訳する作業を行っている。2023年4月に vol.5 のモンゴル語翻訳が終了し、印刷された。 ② 監修者名：浜島信之、バトウムルトウムルクヤク 共訳者名： <u>藤和太</u> 、ナラन्दエルガドルゴル、オトゴンバトアルタンゲレル ③ 担当部分：日本語のモンゴル語訳 (P1-87) 総頁数：P87 ④ B5 判
3.					
(学会発表)					
1.	なし				
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.	なし			
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.	なし			
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	なし		
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2017 年度～現在	保健福祉学部研究所運営委員会	委員
2.	2020 年度～2023 年度	予算委員会	委員
3.	2020 年度～現在	国際交流委員会	委員